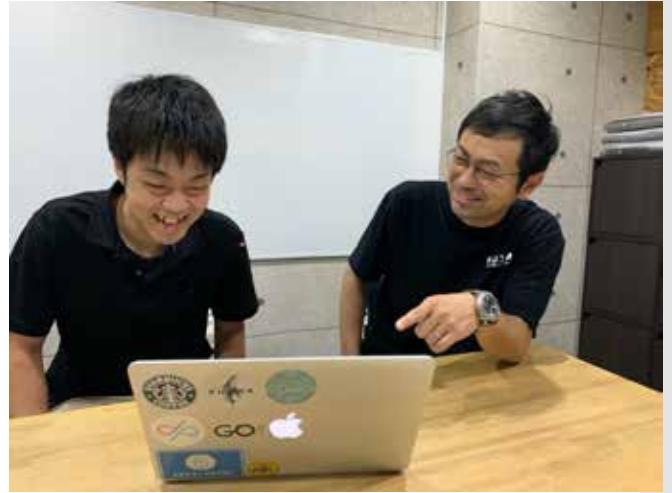


クラウドファンディング 活動報告書

はじめに

こんにちは！クジラ株式会社の南澤です。沢山の方々からのご支援、ご協力のもとクジラ株式会社 KUJILIKE のクラウドファンディング企画「児童養護施設の食堂を子供たちの映画館にしたい！」プロジェクトの施工が完了しましたのでご報告させていただきます。このクラウドファンディングにご支援いただいた皆さま、応援のメッセージを下された方々、沢山のご支援、応援をありがとうございました。深く感謝申し上げます。



活動報告

工事前 打ち合わせ①

担当職員さんとの打ち合わせでは、現状の食堂の空間が閉鎖的で、子ども達にとって“食べるだけの空間”になっているのではないかと調理を担当する調理員さんの働くモチベーションが下がってしまっているのではないかと感じているとお伺いしました。職員の方々も試行錯誤しながらソフト面の改良は行なってはいるものの、今回はハード面を改善したいとお伺いしました。



子ども達にとって視覚的に食事が美味しく、触れ合う大人の数が増えるような空間、調理員さんにとって普段の働くモチベーションに繋がるような空間、職員さんにとって食事の時間を更に子ども達とコミュニケーションが取れる空間にして欲しいとの要望がありました。厨房の調理員さんからは子ども達の顔が見える、子ども達からは食事の準備をする調理員さんの姿が目に入る。開放的な食堂を設計することで“人同士の目が合う瞬間を増やそう”という目的を掲げて、

クジラ社内会議を実施しました。また、「子ども達が食事の量を自分で選択出来るように、セルフサービスの飲食店の様なカウンターにして欲しい。」という担当職員さんからの要望をヒントに、子ども達の能動的な思考・行動を促すデザインプランを目指しました。

工事前 打ち合わせ②

弊社デザイナーから複数の図面、パースの提案を行い、複数回の打ち合わせを行いました。打ち合わせを進める中で、各職員さんがどのような思いを持って仕事に取り組んでいるかをお伺いする機会にもなり、様々な案と一緒に検討をする事が出来ました。

白を基調としてアクセントとして木目柄の家具を作成するパターン、食堂の入り口や隣の部屋と隣接する部屋の建具や壁面に色を合わせて天井の白色のクロスをアクセントとするパターンの 2 案を、最終的に提案させていただきました。

結果、施主様のご希望で 2 案をかけあわせた木目と緑のパターンになりました。



施工開始 下準備

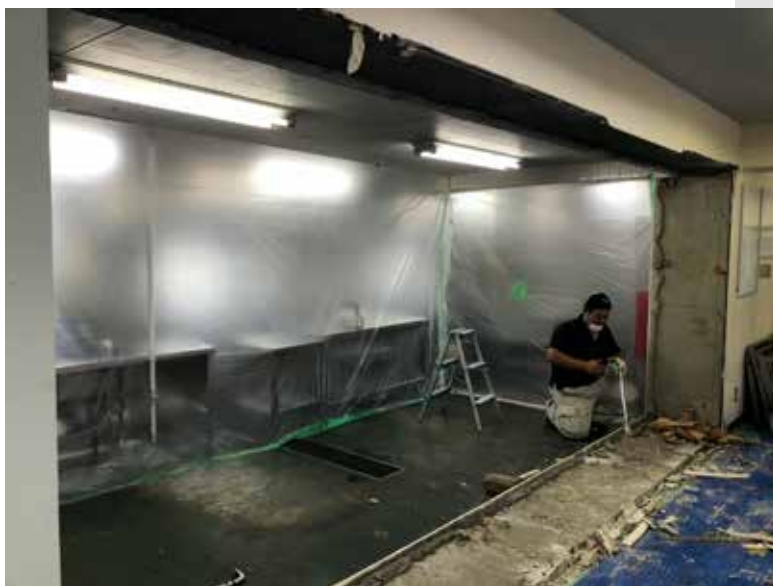
今回の施工では食堂の使用を止める必要があるため、短時間で施工する必要があります。

施工管理である僕と先輩スタッフ、大工さんと何度か打ち合わせして安全かつ確実に工期内にリノベーションが終わるように準備しました。

大工施工① 解体作業

既存の収納棚の撤去や既存のカウンターの撤去などの解体作業を行いました。既存の収納の撤去作業は大工さんの技量によって、想定していたより早く完了しました。

解体作業が終わった頃に子ども達が学校から帰ってきて様変わりした食堂を見て「どんな感じになるか楽しみ！」と多くの子どもたちが言ってくれました。



大工施工② カウンター、天井の造作作業

次にカウンターの造作作業を行いました。ただカウンターを置くだけでなく、床を水平にする為、高さの微調整なども行いました。業界に携わっていないと中々目にしない工程ですが、古い建物は微妙に水平でないことが多いため、長く使い続けるためにはとても大切な工程です。



大工施工③ インナーサッシ、収納扉などの施工

次にインナーサッシ（食堂勝手口）や厨房側の収納扉などの施工を行いました。収納扉の調整はとて難易度が高く、まさに職人技です。小学生は施工期間中、学校から帰って来ると食堂を覗いてから居室に帰ることが日課ようになっており、「カウンターができてる！」や「天井が新しくなってる！」など、

毎日のように覗いて感想を言ってくれていました。中には職人さんの作業を5分ぐらい座って見ている子もおり、話しかけてみると「これどうやって作るん？」など様々な質問をしていました。

とても難しい作業でも、大工さんが楽しんで仕事に取り組んでいる光景を見る事が出来て僕たちも嬉しく感じました。



子ども達による塗装施工

子ども達にカウンターの幕板の塗装に参加してもらいました。塗料はオイルステイン。
普段から KUJILIKE で一緒に活動しているからなのか、作業を始める前に自ら養生作業を手伝ってくれた子ども達を見たときは、本当に感動しました。



諸事情により全体を写した写真がありませんが、新しく出来る食堂への施工に携わった事は食堂を利用する度に良い思い出として思い出してくれるのではないのでしょうか？



クロス、電気施工

結果、クロスの施工を行った事で提案した僕が想像をして以上の良い空間になり、改めてクロスの貼り替えを提案をして良かったなと感じる事が出来ました。電気屋さんにはカウンター内の設備機器用のコンセントの新設とダウンライトを施工していただきました。コンセントの増設は地味に見える作業ですが、安全性と普段の使い勝手においてとても効果のある作業になります。

内装工事では、カウンター側の壁面のクロス貼り替え、新設天井のクロス貼り、既存建具のダイノックシート施工、を実施しました。予算のこともあり、当初はカウンター側の壁面も全ては貼り替える予定ではなかったのですが、空間のクオリティーを考えるとどうしても張り替えた方がよかったため、担当職員のみなさんと協議しました。





完成

ついに5日間に渡る施工が完了しました。今まで無機質だった空間がクロスと照明によって暖かい空間に生まれ変わりました。

一面をカウンターにした事で開放感があり、スイングドアや収納棚を設置した事で使い勝手も良い食堂に生まれ変わりました。大きなスクリーンも設置し、映画鑑賞する準備もバッチリです。



お披露目

竣工日の翌日、お昼ご飯のタイミングで子ども達にお披露目をしました。完成した食堂を見て、みんなが開口一番に「めっちゃ変わってすごい！」や、「絶対こっちの方がいい！」など、とても嬉しそうな反応をしてくれたのが印象的でした。男の子達は恥ずかしがってそれ以上の感想を言ってくれませんでした。一緒にご飯を食べた女の子からは「ご飯を食べに食堂へ来るのがもっと楽しみになる」や「カフェみたいな雰囲気でおしゃれで好き」、「こんな感じの食堂がいいと思ってた」などあまりの誉め言葉に照れてしまうぐらい、代わる代わる感想を伝えてくれました。

後日談

後日、竣工写真を撮影しに行った際や KUJILIKE の活動の際にその後について実際に話を聞く機会があり、調理員さんからはカウンターにした事でご飯の提供をしやすいようになった事や実際にご飯を食べている子どもの姿が見えやすくなって嬉しいとのことでした。また、職員さんからは食事の時間に会話が増えた事や、子どもが学校に行っている間の職員さんだけのご飯の時間も楽しみになったと聞きました。子ども達からは、食堂が変わってからご飯が美味しくなった事や自分でご飯の量を選べるのでご飯の時間がより楽しみになったと聞きました。

振り返り

弊社は普段の業務において営業、設計、施工管理、施主様が一つのチームとなり、各々がプロとして案件に取り組んでおります。今回の企画ではプロジェクトリーダーとして普段の案件では行わない営業と施工管理の先輩にメンターを担当していただき、営業、施工管理の 2 つのセクションを担当しました。プレッシャーで押しつぶされそうになり半泣きで上司に相談をした事もありましたが、沢山のご指導をいただき、様々な経験、多くの成長をする事が出来ました。

改めて施工が完了した食堂を見て、とてもカッコいい空間になっており、プロジェクトリーダーとして施工を行なって良かったなと感じました。一方でもっとこうしたら良かったと感じた箇所もあり、もっと準備をしていればという悔しい気持ちにもなりました。

なかでもこの案件を通して、今後使用する子ども達の嬉しそうな顔を見る事が出来て、実際にリノベーションをした効果が出たことなどから、この職業を選択した事が正解だったと再確認し、改めて今後も続けたい職業だなと感じる機会にもなりました。

南澤敦哉